

# 令和4年度第1回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 令和4年4月21日（木）

午後1時30分～午後2時20分

場所 社会福祉会館 3階 会議室

## 1 高齢福祉課長あいさつ

本日はお忙しいところ推進会議にご出席いただきありがとうございます。また、日頃は本市の福祉行政に理解とご協力をいただき深くお礼申し上げます。

安城市の4月1日時点での高齢化率は21.6%であり、全国平均から見ればまだ低い状況ではあるが確実に高齢化は進んでいる。高齢者が介護が必要になっても住み慣れた安城市で自分らしく生活を継続できるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援のサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの重要性は益々高まり、地域包括ケアを進める上で中核的な位置付けとなっている推進会議の役割の大きさを改めて感じている。新型コロナウイルス感染症の影響で対面式の会議ができない場合もあるかと思うが、オンラインを活用してこの会議で活発な意見交換を行い、安城市の地域包括ケアシステムを推し進めていきたい。お忙しいところ恐縮ですが推進会議にご理解とご協力をお願いします。一年間よろしく願います。

## 2 出席者紹介

(部会のメンバー、事務局一人ずつ自己紹介)

## 3 会長・副会長選出

課長補佐)

### ○ 会長選出

これまでは長きにわたり、この会議の発足の準備段階から岡本雅彦先生に専属的にお務めいただいた。昨年度末をもって部会の代表から退かれることを把握していたので、岡本先生からいただいたご助言を踏まえ、事務局としては、まず、医師会部会から選出するという歴史的な流れを引き継ぐということにし、その上で、この会議での審議等の経験も既に有しておられる鳥居正芳先生に会長をお務めいただくということをこの場で提案させていただきたい。

(一同拍手で賛同)

皆様にご賛同をいただいたので、今年度の会長は医師会部会の鳥居先生をお願いします。なお、当会議の会長は、認知症初期集中支援チーム検討委員会の会長も兼ねていることを申し添えます。

### ○ 副会長選出

従来から会長の推薦によることとしているので、ご指名いただきたい。

(鳥居会長により、経験を考慮してデイネット部会の岡田高志さんが指名された。)

鳥居先生、岡田様、一年間よろしく申し上げます。

#### 4 会長あいさつ

会議に出席するのが2年目で経験不足ではあるが岡本前会長が残された業績を引き継いでいきたい。ご協力、ご支援をお願いします。

#### 5 会議の概要説明（資料1）

課長補佐）

（資料1に沿って説明）

#### 6 議題

##### （1）令和4年度地域包括ケア推進事業計画について（資料2）

課長補佐）

昨年度と変更した点を説明する。全体としてはwithコロナの考え方が社会に浸透してきたことを踏まえて、感染対策を優先としつつ、できる限り効果を生み出す事業運営を目指す。

昨年度との変更点

3（1）ク の追加

【質問・意見】

（なし）

##### （2）在宅医療・介護連携推進のための研修会について（資料3）

（令和3年度研修会、令和4年度研修会予定、研修会運営マニュアル）

事務局）

（資料3に沿って説明）

【意見・質問】

（なし）

##### （3）令和4年度検討テーマについて（資料4）

事務局）

（資料4に沿って説明）

昨年度から検討を続けているテーマで、年度途中で結論が出れば年度途中でも本会議で報告していただきたいのでその際は事務局へ連絡を。検討テーマの内容について推進会議での検討が必要な場合は事務局まで連絡を。

【意見・質問】

（なし）

##### （4）看取り体制支援プランについて（資料5）

(ACPマニュアル、わたしノートについて)

在宅医療サポートセンター)

(資料5に沿って説明)

**【意見・質疑応答】**

会長)

ACPは安城市としても大きなテーマであり、ACPに関することを検討テーマに挙げている部会がいくつかあるので、その部会から今年度の検討内容について報告をお願いします。(訪問看護ネットワーク部会)

今年度の担当者を再編したので、わたしノートの使用に際しての意見や療養者の反応を話し合う予定。

ケアマネット部会)

コロナ禍のため部会内で集会ができなかったため、アンケートで看取りについて困っていることはないかを調査した。その結果、本人の意思決定支援が難しい、看取り期における医師や看護師との関わり方、サルビー見守りネットが活かせていないという意見が出た。意思決定支援については、わたしノートの利用を進められるように部会内で検討していきたい。

保健福祉部会)

今年度の研修テーマを、ACPを専門職と理解する、とした。検討テーマは、わたしノートを活用したACP啓発のための市民向けのカリキュラムを考えることとし、市民にACPに理解と関心をもってもらえるよう、わたしノートの活用を通じたACP理解のための統一したカリキュラムを作成する。

会長)

今後もこの会議で各部会の取り組みを共有しながら進めていきたい。昨年度、ACP作業部会が中心となり専門職のためのACPマニュアルとわたしノートを作成したが、具体的な活動内容の説明を。

ACP作業部会副会長)

今後は専門職のためのACPマニュアルとわたしノートの使い方を検証し、実証していく。また、市民への普及啓発にも力を入れなければいけないので、ACPに関するフォーラムや安城更生病院の杉浦真先生のエンドオブライフケア研修会にも携わり普及啓発にも力を入れる。部会単位で作業部会と検討したいことがあれば、お気軽にご連絡ください。

**【質疑応答】**

リハビリネット部会)

- ①資料5-2で人生の最期を自宅で迎えたい人が約5割とのことだが、過去と比べて増えたのか、減ったのか。
- ②自宅以外はどこかの希望があったか。
- ③わたしノートは、疾患を負ってからは書きづらいがどの時期から書けば良いか。

在宅医療サポートセンター)

- ①高齢者実態把握調査は3年に1度で、看取りについての調査は今回が初回だったので比較ができない。

②手元に資料がないので後日回答する。

③本人が書きたいと思った時期に書きたい部分から書くことを想定している。書くタイミングは難しいが、部会を通して理解を深めてほしい。

会長)

資料5-2左下の図によると施設での死亡が増えており、施設で亡くなるケースが身近になっていきていると感じる。

(5) サルビー見守りネット (名古屋大学連携) について (資料6)

事務局)

(資料6に沿って説明)

サルビー見守りネットに関する協議事項は、安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会において行うこととなっている。今回の協議事項は、名古屋大学医学部附属病院 (NUCAN電子@連絡帳) との地域間連携の依頼があった。利便性が向上することから、地域間連携の依頼を承認していきたい。→ (承認)

連絡事項

事務局)

① 地域ケア推進会議に関する連絡について

・高齢福祉課地域支援係 (石川・山田) 電話71-2264 FAX74-6789

メールアドレス yamada-keishi@city.anjo.lg.jp

事務局からのメールの件名: 【安城市地域ケア推進会議】○○○・・・

・昨年度以前の会議録はサルビー見守りネットに掲載

② 地域ケア推進会議の開催日について (資料7)

次回 令和4年5月19日 (木) 午後1時30分~3時 社会福祉会館 会議室

新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定を変更する場合は、事前に連絡する。